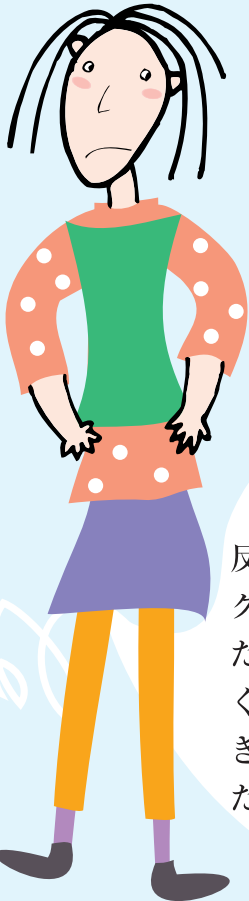


「ほめる」

■エピソード



1

母親の洋子さんに反対されたままロックコンサートに行った由美さん。まったく洋子さんとは口をきかないまま数日かたっています。



3

昔は仲のいい親子だっって言われたのに、今はきまずいなあ。

小さいころは『由美は言うことよく聞くし、なんでも一人でできるいい子だ。』とほめてくれたけれど…。

「あの夜はバスもなくなって、歩いて帰ったから遅くなったんだ。なのにずっと怒ったままなんだから…。でも…、あの夜、家の鍵も開けてくれてたよなあ。私が帰ってくるまで起きていたようだし、お母さんも少しは気にしてくれてたのかなあ。」

お母さんに「ごめんなさい。心配してくれてありがとう。」と言いたい気持ちはあるのですが、なかなかきっかけがつかめなっています。

4

今は顔を見ると文句ばかりだし、つつい私も口ごたえしてしまうんだよね。

どちらかが、もう少し相手の言うことをじっくり聞いたらいいんだろうけれど、なかなかきっかけがないし…。

親が自分をほめないように、自分も親のことをほめることも、ありがとうっていうこともなかったと思いはじめた由美さんです。



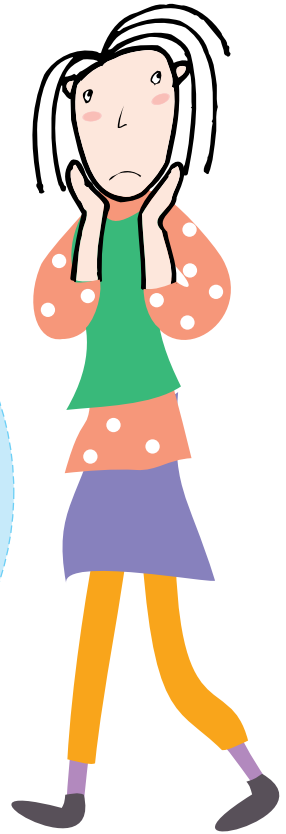
2





母親の洋子さんのひとりごと…

- あの子も勉強についていくのに大変だし、毎日よくがんばっていると思うけど、顔を見ているとついつい文句になってしまう。コンサートに行きたいと言ったときも、気をつけて行っておいでとだけ言ったらよかったんだろうなあ。



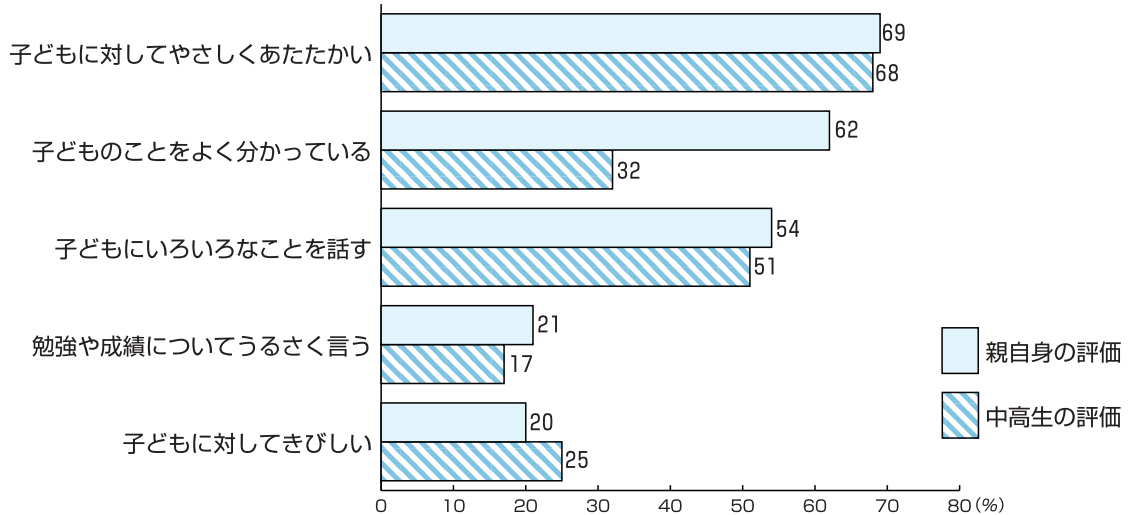
グループワーク

- 1 グループに分かれて話しあってみましょう。
 - ① エピソードを読んでどのように感じましたか？
 - ② あなたが親にほめられたのはどんなときでしょうか？
 - ③ そのときのあなたの気持ちはどうだったでしょうか？

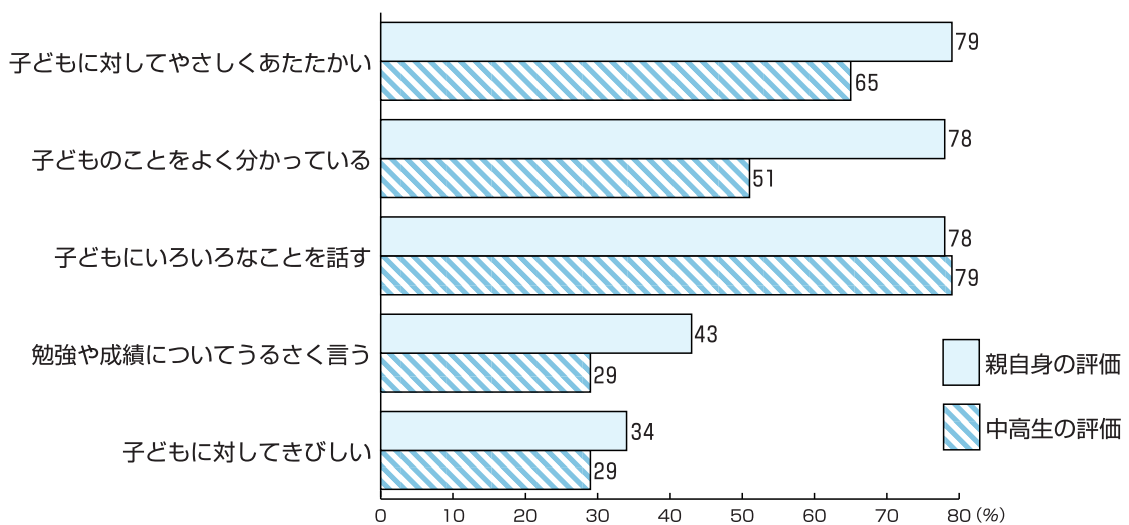
■ どういう親か



どういう親か：父親

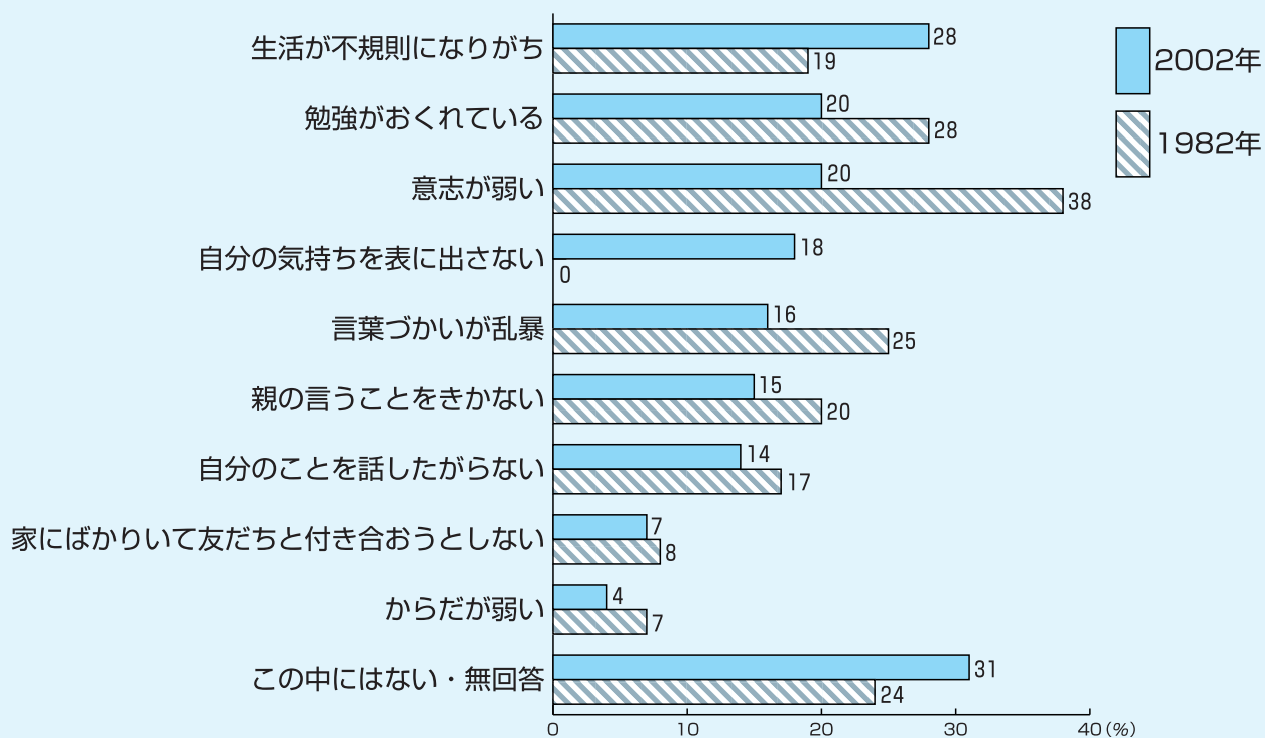


どういう親か：母親



※出典：NHK放送文化研究所「NHK中学生・高校生の生活と意識調査～楽しい今と不確かな未来」(平成15年)

■子どものことで気になること（複数回答 対象：中高生の親）



※出典：NHK放送文化研究所「NHK中学生・高校生の生活と意識調査～楽しい今と不確かな未来」（平成15年）

